



## 【華陽の新しいカタチ～今こそできること～】

岐阜市立華陽小学校PTA 渡邊祐輔 渡邊 淳 洞口聡子 野原由衣 加藤ひろ海  
中里綾子 馬淵美月 遠藤 綾 小門沙帆 多和田千穂

### 【はじめに】

華陽小学校は、昭和8年に白山小学校から分離し、2023年度で90周年を迎える歴史ある学校です。「華陽」とは「金華山の南の陽のあたる場所」を意味し、校区は岐阜市の玄関口であるJR岐阜駅や名鉄岐阜駅の東側に広がる中心市街地にあります。児童数は現在250名で、年々減少傾向です。

学級の名前が1組・2組・3組・4組ではなく、花組・星組・雪組・月組と珍しい呼び方なのも特色です。

### 【学校行事】

華陽地域では入学式や卒業式、運動会の他に、もちつき大会、地域防災教室、華陽地区文化祭、人権ライブコンサートなどの行事があります。その多くが学校だけでなく、地域の人々の支えによって成り立っています。

### 【地域との連携】

公民館のどんぐりルームは、学習や読書、遊びなど、子どもたちが自主的に活動できる場です。なかよし教室は、放課後児童クラブの愛称で、留守家庭の児童を対象とした放課後の生活の場です。放課後ひまわりは、華陽ひまわり委員会の計画に沿って、子どもたちに体験や交流の場を提供しています。各町内ごとの子ども会も、ラジオ体操や町内の清掃などの活動がされ、しっかりと機能しています。このように子どもたちをサポートするコミュニティが華陽地域では特に充実しており、PTA活動もその中において行われています。



### 【PTAの活動】

- ・子どもたちが集めてくれたベルマークの仕分けと集計
- ・運動会後に校庭の砂がついた椅子の足拭き
- ・長期休み前の給食の白衣のチェックと修全
- ・夏休みに校庭での自転車点検と安全指導
- ・読み手と聞き手が心を通じ合わせる本の読み聞かせ
- ・家庭で約束ごとを決め自主性を育む我が家の約束運動
- ・各地の110番の家を覚える地域ウォークラリー
- ・旗当番におけるスケジュール作成や危険個所の割り出し
- ・その他子育て委員による情報連携や校医との意見交換など
- ・iPadによる生中継で各教室とつないで実施したPTA総会

### 【新しいカタチ】

アフターコロナの今ある環境で、今いるメンバーで、それぞれが子どもたちのためにを想い、ボランティア精神で、無理なく楽しく負担なく出来ることに取り組む。それが「新しいカタチ」です。

それをカタチづくるのは、役員のメンバーはもちろん、地域の皆様や保護者一人ひとりです。

PTA活動は保護者、地域の協力があって成り立っています。

### 【最後に】

華陽地域は有難いことに地域の皆さまに恵まれています。地域の皆さまに支えられ、地域のために手を挙げた PTA 役員のメンバーものびのびと無理なく楽しく活動ができています。コロナ前には戻らない、価値観も生活も日々移り変わっていく中で、正解はわかりません。ただ、私たちが子どもたちのためにできることを、全員が主役でやっていくこと、それを継続し、次世代につないでいくこと、保護者と学校と地域と一緒に進めていくことが正しいと思います。それをそれぞれの地域で、それぞれのメンバーでやっていけばよいと思います。

カタチはそれぞれの地域や学校によって違ってよいのではないのでしょうか。違いは違いであって間違いではないと思います。そして華陽小学校では華陽小学校なりの正解を見つけられていると思います。